

平和について考えよう

令和6年度 玉幡小学校 6年1組

目次

1. なぜ戦争が起こるのか
2. 太平洋戦争中の暮らし
3. 子どもたちと戦争
4. 戦争の被害状況(過去の戦争・太平洋戦争)
5. 終戦、そして・・・
6. 私たちにできること

なぜ戦争が起こるのか？ 1

<https://www.cuc.ac.jp>

なぜ戦争が起きるのかネットで調べてみました。

1つ目は「民族」の争いです。民族の異なる人たちが、その考えの違いから争いを起こすことがあります。

2つ目は「宗教」の争いです。信じる宗教の異なる人たちが、その考え方の違いから争いを起こすことがあります。

3つ目は「資源」の争いです。金やダイヤモンド、石油やウランなど、鉱物資源が出る国では、それをめぐった争いが起こることがあります。特に、武力で人を支配しようとする「武装グループ」が争いを起こすことが多く、グループ同士で戦ったり、一般の住民に暴行したりして、鉱物を独占し、お金を得ようとします。

4つ目は「政治」の争いです。例えば、ひとりや少人数が政治を独占する「独裁政権」が続いた時に、住民がその政治に反対して、国内の争い「内戦」を起こすことがあります。

5つ目は「領土」の争いです。例えばアフリカの場合、ヨーロッパの国がアフリカの国を支配する「植民地」の時代に、ヨーロッパの人たちの都合で勝手に国が分けられました。この時ひかれた国境線が実態と合わず、はつきりしないことが多いことから、国同士が領土を主張する紛争が起こることがあります。

なぜ戦争が起こるのか2

宗教同士で争うことを知り、どうやって争うのかが気になりました。宗教とは、人の生きる苦しみを取り除き、人に生きる道を教えて救うもの。しかし、信者が増えて組織化したり、宗派が増えたりすると、「自分たちの宗派を守ろう！ 勢力をつけて広げよう」という主張と活動が強くなります。その結果、自分たちの主張を訴え、宗教観の違いから権力や領土などの資源を奪い合う戦争が始まってしまいます。



<https://hugkum.sho.jp/518585>

なぜ戦争が起きるのか3

現在、日本は「北方領土」、「竹島」、「尖閣諸島」の三つの領土問題を抱えています。外国によっての不法占領が、戦争が起こる原因にもなると思います。



<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%8C%97%E6%96%B9%E9%A0%98%E5%9C%9F%E5%95%8F%E9%A1%8C>



<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/takeshima/>



<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/senkaku/index.html>

学習してわかったこと

戦争にはしっかり正当な理由があり、5種類ある。また、日本にも戦争が起こる原因があるのだと知った。
また、戦争のルールを守っていない国がたくさんあり、びっくりした。

戦争中の暮らし（太平洋戦争）

https://www.city.matsudo.chiba.jp/kurashi/heiwa/kako_heiwajigyo/shokujitaiken/senjicyuunoreshipi.html#:~:text=

食べ物



軍人が食べていたもの お米はなく、代用食として、サツマイモ、じゃがいも、すいとん、草、餅草、柏の葉、里芋、かぼちゃなどをたべて生き抜いていました。

戦時中に配給された食べ物

食料油、菓子類、パン、小麦粉、木炭などが常時配給食として、配られた。

<https://www.jacar.go.jp/glossary/tochikiko-henten/qa/qa13.html#:~:text=%E9%85%8D%E7%B5%A6%E9%87%8F%E3%81%AF%E5%B9%B4%E9%BD%A2%E3%82%84,%E3%82%84%E3%82%84%E5%A2%97%E3%82%84%E3%81%95%E3%82%8C%E3%81%BE%E3%81%97%E3%81%9F%E3%80%82>

戦争中の暮らし

- ・戦中、戦後の食糧不足の時代に食べさせられていた食事です。

また、お米は切符を持っていないと買えない状況でした。足りない分は、近くにある農家などに買い出しに行って手に入れていました。ですが、お金の価値がなくなり物の交換でなければ食べ物を手に入れることは難しくなっていました。また、少しでもご飯を増やすために、こたつで納豆を作っていました。なので、こたつ布団をめくると納豆の匂いがしたそうです。



<https://nanohana-coop.net/kumiaiinkatsudo/%E5%A0%B1%E5%91%8A%EF%BC%9A%E4%BD%93%E9%A8%93%EF%BC%81%E3%80%8C%E6%88%A6%E6%99%82%E4%B8%8B%E3%81%AE%E9%A3%9F%E4%BA%8B%E3%80%8D/>

戦争中の暮らし

学校

国民学校の教科は、戦争に勝つための丈夫な心や体というのに目立たされました。

戦争中の暮らし

学校では授業中にサイレンが鳴ると、警戒警報発令ということで、全員耳をふさいで机の下に潜りました。実際に航空機が来たときは、6年生を先頭に駆け足で、集団下校しました。

<https://www.city.chiba.jp/100th/watashitachi/documents/zenbun.pdf>

戦争中の暮らし

仕事



当時は、決まった年齢に達した20歳以上の男性を、国がむりやり兵隊にできる、ちょうへいせい徴兵制 の時代でした。初めは20～40才でしたが、戦争が長引き19～45才に広がりました。また、14, 5才以上の18歳にならない男性に対して、海軍少年兵や海軍練習兵のぼしゅう募集が行われました。25歳にならない結婚していない女性は、女子勤労挺身隊に入れられて、工場で働かされました。大学や高等専門学校の学生も、兵士にさせられました(がくとしゅつじん学徒出陣)。

<https://www.city.chuo.lg.jp/virtualmuseum/heiwazigyo/shiryoshitu/kikakutenjishitsu/h28.html>

<https://kids.gakken.co.jp/box/syakai/06/pdf/B026113030.pdf>

戦争中の暮らし

服装



カーキ色の上着と袴(はかま)、中衣(下着と上着の間に着る服)、帽(ぼう)、外套(がいとう・寒さや雨を防ぐために洋服の上に着る服)、手套(しゅとう・てぶくろ)、靴(くつ)からなり、上衣(うわい)に衤(おくみ)型と帯型をつけた甲号(こうごう・ポケットが縦の服)と、軍服調(ぐんぷくちょう・軍人の服)の乙号(おつごう・ポケットが横の服)の2種があった。

モンペ

もんぺは消火・避難などにおいて、素早く動けるよう奨励された防空着で、足首をしぼったズボンのような服

国民服

国民服は、戦時下の物資不足に対応し、衣服の簡素化をめざす考え方によって、同じ服装にまとめられました。

<https://kotobank.jp/word/%E5%9B%BD%E6%B0%91%E6%9C%8D-499882#:~:text=%E5%9B%BD%E6%B0%91%E6%9C%8D>

【国民服】図一 国民服(左)と婦人標準服(右)



甲号上衣(開襟)



乙号上衣(立折襟)



甲型(二部式1号型)



活動衣(二部式)



モンペ

国民服



戦争中の暮らし

学習してわかったこと、体験者の思いを聞いてどう思ったか

戦争中は、自分の生きたいように生きれなく、無理やり仕事をやらされたり、食料なども不足していて、栄養も取れなくなったり、子どもも大人も苦しい生活を送っていることがわかりました。自分がもしこういう事が起きたら、思うように生きたいし幸せな生活を送ることができなくて辛いだろうなと思いました。

戦争中の暮らし

体験者の思い

1980年、3歳のとき父親が戦死し、一人で農業を行い、男一人で頑張る覚悟を決めた。後ろを振り返ると真っ赤な海のようなだった。さつまいもは栄養がたくさん取れたため主食となった。戦争をやってはいけないことを伝え続けてほしい。親を大切にしてほしい。私達にできることをやってほしいと遺族会の方々がおっしゃっていました。

戦争中の暮らし

意味がわからない言葉について

徴兵制 国家が決まった年齢の国民を無理やりに軍隊に入隊させるルール。

簡素化 無駄を省いて簡単にすること

外衣＝外套 と下着＝襦袢との間に着用する衣類のこと

奨励 良いことをして、人々に勧めること。

女子勤労挺身隊 身をなげだしてでも働く女性部隊

海軍少年兵 海での攻撃を止める仕事。

学徒出陣 20歳以上の学生を兵士にさせること。

戦争中の子どもたち

まず戦争中の子どもたちは、ガスマスクを付けて遊んでいることが多く、戦争のえいきょうがとてもわかります。こわれた戦車で遊んでいることもありました。新聞の子供にはやせ細っている子が多く見えました。戦争が始まると、戦争に関係ある遊びやおもちゃが多くなり、子どもたちの遊びも変化していきました。やがいのごっこ遊びは、チャンバラごっこが戦争ごっこ、おもちゃも戦車・軍かん・飛行機など戦争に関するものが増えました。すごろくや紙しばいも戦争の内容をあつかったものが多くなりました。

そして、子どもたちが食べていた代用食とは少なくなったお米の代わりに食べるものだったそうです。主食はいきゅうの米に丸麦や外米を混ぜたものを日に一度だけ、他の2食はうどん、そば、すいとん、代用パン、イモ類などです。そして、トリカブトとヨモギは、とても似ていてトリカブトは有毒なので、危険なものを区別していたのか、それとも食べていたのか。どちらだとしても命がけだと思いました。

子どもたちの仕事は、肥料の材料になる草を田んぼのあぜでかり、道に落ちている馬や牛のふんを拾い集めることらしいです。のうはんきにはの害虫取りやいねかりも手伝ったらしいです。

窓にガラスはなく、貼ってある紙のすきまから冷たい風が入ったそうです。



核兵器とは
爆風、放射線、熱放射などの破壊
に用いる兵器の総称。
(広島に投下されたものも同じで
ある)

先ほど、説明したガスマスクをつけている子どもたちの話は旧ソ連(ロシア)において核攻撃(核兵器を使って攻撃すること)に備えて民間向けに開発、配備された児童用防毒(毒を防ぐ)マスク

https://www.huffingtonpost.jp/2015/03/19/photos-of-children-at-play-during-wartime_n_6906912.html

子どもたちと戦争

戦争は家庭をはかいし、家族をりさん(家族が散り散りになること)させ、コミュニティ(共同体)をほうかいさせ、信頼関係を崩し、教育機関(ある目的を達成するために作ったグループ)をへいさに 追い込み、子どもの暮らしのきばん(物事の土台)そのものを揺さぶります。

冬の寒さと飢えのため命を落とす子供もいました。

共同体

深く結びついている人々の集まりのこと。

学習してわかったこと

グループ全体で思っていることは戦争は起こしていけないもので、昔はこの学習さえもできなかったのこれから学習を続けていきたいです。そして、この学習を広めていきたいです。

親ががなくなってなくなってしまうのは一番苦しいし、お話を聞いて私達のグループでは胸が痛い、悲しいなどの思いが多かったです。子どもの実際に爆弾見たら、こわいと思うし、自分だったらトラウマで頭から抜けなくなると思いました。あとは、さつまいもが本当に主食だったのがびっくりしました。

遺族会の方々は、「家族を大切に」とおっしゃっていました。

さつまいもの栄養素

食欲を安定させる、免疫力、安眠効果、がんのリスクをおさえる。

戦争名	年	日本人の死者数	参加国
第一次世界大戦	1914-1918	300	イギリス、フランス、セルビア、ロシア帝国 イタリア、ギリシャ、ポルトガル、ルーマニア、 アメリカ合衆国中央同盟国ドイツとオースト リア・ハンガリーオスマントルコとブルガリア
シベリア出兵	1918-1922	3~4000	アメリカ、イギリス、フラン ス、日本
満州事変	1931-1932	約300	日本、中国
日中戦争	1937-1945	約300000	大日本帝国 満州国 蒙古聯合自治 政府 中華民国 タイ王国 中華 民国 中国国民党 中国共産党 イギ リス帝国 ドイツ国オランダ
仏印進駐	1940	?	フランス、日本

第二次世界大戦	1941-1945	3100000	ポーランドイギリスオーストラリアニュージーランドフランスネパール英領ニューファンドランド南アフリカ連邦カナダチェコスロバキアデンマークノルウェールクセンブルクオランダベルギーフランス自由フランスギリシャユーゴスラビアソビエト連邦ウクライナ・ソビエト社会主義共和国白ロシア・ソビエト社会主義共和国パナマアメリカ合衆国コスタリカドミニカ共和国エルサルバドルハイチホンジュラスニカラガア中華民国フィリピングアテマラキューバメキシコブラジルエチオピア帝国イラクボリビアコロンビアイランユーゴスラビア民主連邦リベリアベルーアルバニアエクアドルパラグアイウルグアイベネズエラトルコエジプトシリアレバノンサウジアラビアアルゼンチンチリ
インドネシア独立戦争	1945-1949	1078	インドネシアオランダイギリスアメリカ合衆国インドその他のアジア諸国
ドゥーム作戦	1945-1946	164	ドイツ帝国フランスイギリスアメリカ合衆国オーストリア＝ハンガリー帝国ロシア帝国
イラク戦争	2003-2011	6	アメリカ合衆国イギリスオーストラリアポーランドスペインダニッシュイタリヤ日本カナダチェコスロバキアブルガリアノルウェーコロンビア
オーシャン・シールド作戦	2009-2016	?	アメリカ合衆国カナダイギリスフランスオランダデンマークドイツイタリアスペイントル

くうしゅう せんそう ししやすう

空襲・戦争の死者数

ぜんこく くうしゅう そうごうししやすう

全国の空襲の総合死者数...45,9564人

1, 東京都...14,6597人

2, 広島...14,2572人

3, 長崎...7,5520人

4, 大阪府...1,5811人

5, 兵庫県...1,0754人

日清戦争→2万人 日露

戦争→約8万5000人 第一次

世界大戦→300人 第二次世

界大戦→310万人 太平洋戦争

→約310万人 特攻隊での死

者→約4000人

戦争の武器

戦争武器



銃剣（銃の先端につけて使うものです。銃の弾が尽きたときに接近戦を挑み殺傷するものです。主に突き刺す、斬りつける、叩き切るなどです）**地雷**（地上または地中に設置され、人や車両の接近や接触によって爆発して危害を加える兵器で、「悪魔の兵器」とも呼ばれる地雷は無差別殺戮兵器としても機能しています。）**軍用車両**（軍隊で軍事目的に使用される車両の総称。トラックのように民間でも用いられるものから、戦車のように専用に作られたものまで幅広い種類があります。）**手榴弾**は、陸軍における最も基本的な武器のひとつで、ほとんどの兵士達は基礎訓練過程で小銃射撃と共に手榴弾の投げ方を習います。現代戦においても、歩兵として戦う兵士にとって手榴弾は不可欠の装備であり続けています。

<参考> URL [銃剣](#)

[軍用車両](#)

[地雷](#)

[手榴弾](#)

被害の状況（体験談も含む）

「桂田さんのお話より」

かつ か じ くうしゅう つづ

7月6日PM11時頃からAM2時頃まで空襲が続きました。

おおがたせんりやくげんぱくき き ふじさん めあて わかやま ひょうご ちば

B29 の大型戦略原爆機が300機富士山を目当てにきました。和歌山、兵庫、千葉、

やまなし しずおか ばしよ お いっぱつめ ちば やまなし ちゅうしんしがいち

山梨、静岡の5つの場所に落とされました。一発目が千葉と山梨の中心市街地に

しょうめいだん にはつめ おお しょういだん お かつらだ かぞく いえ

照明弾、二発目が大きな焼夷弾が落とされました。桂田さんの家族は家から3kmの

ばしよ に いえ くうしゅう や ぼうくうごう なか す

場所まで逃げ、家が空襲で焼け、ボロボロの防空壕の中で過ごしました。

しょういだん こうげき

焼夷弾 家を燃やしたり攻撃を加えたりするもの

しょうめいだん

照明弾 焼夷弾を落とす前に火で明るくするもの

かつらだ おも ひげき にど お ねが

桂田さんの思い→「こんな悲劇は二度と起こらないでほしいと願っている」と、

おっしゃっていました。被害の様子・原爆の被害空襲や土地を平らにすることにより、
ひさい ちいき めんせき おく つぼ つぼ たたみまいぶんひさいじんこう やく まんにん ひさいとすう やく まん

被災した地域の面積は1億9500坪、(坪＝畳2枚分)被災人口は約970万人、被災戸数は約230万戸に上り

ました。一回の原爆で直径約280mの火の玉ができ、表面の温度は太陽と同じく

らいで近くでは燃えるものすべてが燃えました。人々の皮膚は、熱線を浴び、焼
ちか も も ひとびと ひふ ねっせん あ や
は お ふつう かんが ひがい

けただれて剥がれ落ちるなど普通のやけどでは考えられない被害をもたらしまし

た。また、熱線によって火災も発生して広がりました。爆風によって、ものすご

い力が働き、押しつぶされた建物の下敷きになって沢山の人が亡くなりました。

ふ と ひとびと からだ きず げんばく ひがい

吹き飛ばされたガラスのかけらが人々の身体を傷つけました。原爆による被害

甲斐市遺族会の方々の話

さい ころくしゅう う ぼうくうごう に こ うし ふ む ま か
3歳の頃空襲を受け、防空壕に逃げ込み、後ろを振り向くとあたりが真っ赤に
そ とう せんそう い くに な
染まっていたそうです。お父さんは戦争に行き、国のために亡くなったそうで
とう せんし ひと まわ おお おとこひとり ひとり
す。お父さんが戦死した人は周りにも多かったそうです。男一人だったため一人
のうぎょう いとな さいご おや だいじ
で農業を営んでいました。そして最後に、親を大事にしてほしい とおっしゃっていました。

学習してわかったこと・考えたこと

せんそう しら ひがい ひと な し あらた
戦争について調べてたくさんの被害や人が亡くなっていることを知り、改め
せんそう こわ し たいけんたん き せんそうちゅう ようす ひと
て戦争の怖さを知りました。また、体験談を聞いて戦争中の様子やその人の
おも き いま かんが こうけい ひろ こと し
思いを聞いて、今では考えられない光景が広がっていた事を知ることができまし
せんそうちゅう ぶき ひと きず ぶき しゅうい ひと むさべつ
た。戦争中の武器には、人を傷つける武器がたくさんあって周囲にいる人も無差別
に殺されてしまうのはとても悲しいことだと思いました。今までの戦争や今起こっ
ている戦争にもたくさんの被害者や後遺症を負った人がいることを知って、もうこのよう
な事を起こさないようにしていきたいです。遺族会の方々の話を聞いて、親がいることは、当たり
前じゃないことがわかりました。国のために亡くなった家族がいることや、家族のために働いて、
苦しい生活を送っていたことを知り、自分たちは恵まれているんだと思いました。

戦争後の様子(せんそうごのようす)

1 戦争が終わった理由 ・降伏

原子爆弾(げんしばくだん)の投下(とうか)により天皇(てんのう)がラジオ放送(ほうそう)で降伏(こうふく)を宣言(せんげん)した。降伏したあとは、サンフランシスコ平和条約(へいわじょうやく)という条約を結び(むすび)アメリカと平和条約を結んだ。



終戦そして…。終戦後の日本(しゅうせんごのにほん)

・住(じゅう)

戦後(せんご)の直後(ちよくご)は、バスの中で暮らす(くらす)人がいた。小屋(こや)を立てる人もいた。病人(びょうにん)には、稲藁(いねわら)を敷いた(しいた)、藁布団(わらぶとん)があった。病人(びょうにん)にもこれだけのことしかできなかった。青空教室(あおぞらきょうしつ)、校舎(こうしゃ)が焼けて(やけて)しまったため、外(そと)で授業(じゅぎょう)をすることになった。

https://www.lib.fussa.tokyo.jp/digital/digital_data/folkloristics/pdf/0404/0001/0006.pdf

<https://www.city.chuo.lg.jp/virtualmuseum/heiwarzigyo/shiryoshitu/kikakutenjishitsu/h25.html>と教育出版株式会社小学社会6



2・衣 (い)

<https://bunka.nii.ac.jp/heritages/detail/377617#:~:text=%E5%9B%BD%E6%B0%91%E6%9C%8D%E3%81%A8%E3%81%AF%E3%80%81%E6%97%A5,2%E7%A8%AE%E3%81%8C%E3%81%82%E3%81%A3%E3%81%9F%E3%80%82>



戦後(せんご)ももんぺや国民服(こくみんふく)の人が、多かった。

少(すこ)し経ってから、だんだん洋風(ようふう)になってきた。

戦後は一転(いってん)して、若者(わかもの)を中心(ちゅうしん)に、多種多彩(たしゅたさい)なファッションスタイルが生(う)まれます。

その最初(さいしょ)が、無軌道(むきどう)な若者たち(アプレゲール)の間に流行(りゅうこう)した、享樂的(きょうたき)なアメリカンスタイルでした。

七三分け(しちさんわけ)のリーゼント、サングラス、カンカン帽、(ぼう)そしてボールドルック(ゆったりしたアメリカンスタイル)のスーツにコンビのエナメル靴(ぐつ)。

夏(なつ)はアロハシャツに白いズボン、サングラスという派手(はで)な格好(かっこう)です。

<https://www.city.chuo.lg.jp/virtualmuseum/heiwazigyo/shiryoshitu/kikakutenjishitsu/h24.html>つ

https://www.lib.fussa.tokyo.jp/digital/digital_data/folkloristics/pdf/0404/0001/0006.pdf

日本国憲法(にほんこくけんぽう)

GHQ通称(つうしょう)連合国軍最高司令官総司令部(れんごうこくぐんさいこうしれいかんそうしれいぶ)の指示(しじ)の元、日本国憲法が作られました。1946年11月3日に公布(こうふ)され、1947年5月3日に施行(しこう)した。主(おも)な内容(ないよう)は、平和主義(へいわしゅぎ)、基本的人権の尊重(きほんてきじんけんのそんちょう)、国民主権(こくみんしゅけん)があった。ほかにも軍隊(ぐんたい)を解散(かいさん)する、6・3制(せい)の義務教育(ぎむきょういく)・男女平等(だんじょびょう)言論(げんろん)・思想(しそう)の自由(じゆう)が保証(ほしょう)されました。天皇(てんのう)は、今までは主権者(しゅけんしゃ)だったが、日本国憲法では、国の象徴(しょうちょう)とされています。



4高度経済成長(こうどけいざいせいちょう)

人口の都市集中(とししゅうちゅう)、過密(かみつ)、過疎(かそ)、農村(のうそん)の変化(へんか)、進学率(しんがくりつ)の上昇(じょうしょう)、大きな社会変化(しゃかいへんか)は高度経済成長(こうどけいざいせいちょう)をもたらした。電気洗濯機(でんきせんたくき) 電気冷蔵庫(でんきれいぞうこ) 白黒(しろくろ)テレビは、家庭(かてい)になく
てはならないものとして、「三種の神器」(さんしゅのじんぎ)とされた。国際社会(こくさい
しゃかい)への復帰(ふっき)もはたし、オリンピックも開(ひら)かれましたた。

<https://www.sankei.com/article/20220812-VTA3ZPLRUNNVVB5JDVEVINGOI4/>



まとめ

・戦争後の暮らしは戦争中(せんそうちゅう)の暮(くら)らしより貧しく(まずしく)、とても苦しい(くるしい)生活を送って(おくって)いました。また日本国憲法が公布されたことにより暮らしは、だんだん良くなっていきました。

◎一人ひとりが思ったこと

・戦争後の三種の神器(さんしゅのじんぎ)は、戦争後の人々たちに大きな影響(えいきょう)を与え(あたえ)戦争後の人々たちには、大いに喜んだ(よろこんだ)と思います。

・戦争により日本の暮らしはとても貧しく厳しい(きびしい)生活だったのに、よく復興(ふっこう)できたんだなと思いました。

・GHQが日本国憲法を明示(めいじ)したことは日本が豊か(ゆたか)になることの始まり(はじまり)だからこそ GHQに感謝(かんしゃ)したいです。

・戦争中はたくさんの人が辛い(つらい)思いをしたと思います。今、戦争を経験(けいけん)した人が生きていると長生きしたんだなと感じます。そう考えると今は幸せな時代なんだなと思いました。

・この文章(ぶんしょう)を書いて戦争後も戦争中と同じくらいの苦しみをしていることがわかり命(いのち)の重さ(おもさ)を感じました。二度とこのような過ち(あやまち)を侵さ(おかさ)ないようにこれから自分(じぶん)たちができることを精一杯(せいいっぱい)やっていきたいです。

いみのせつめい

とうか...おとすこと へいわじょうやく...せんそうをおわらせ、へいわにするためのじょうやく こうふく...まけをせんげんすること とししゅうちゅう...じんこうがたくさんいること しんがくりつ...しんがくするかくりつのこと じょうしょう...あがること かみつ...じんこうがとてもおおいこと かそ...じんこうがすくなすぎることにん しゃかいへんか...しゃかいがおおきくへんかすること ふつき...もとにもどること こくさいしゃかい...こっきょうをこえたこうりゅうがあり、なりたっているしゃかい

えなめるぐつ➡



私たちにできること

私達にできることは大きく分けて5つあります。

1つ目は、国際的な紛争問題に、興味を持つことです。過去の戦争や紛争から学ぶことで同じ過ちを繰り返さないための教訓を得たり、異なる文化や背景を持つ人々との共感や理解が深まり平和を推進し人権を守る行動を起こすことができます。

2つ目は、募金やイベントに参加することです。募金をするにより戦争で被害を受けた地域に援助することができます。また、イベントに参加することにより、1つ目に上げた事ができます。

3つ目は、積極的に政治に参加することです。アドルフ・ヒトラーと言う人を知っていますか。彼はある選挙で首相になりました。そのごヒトラーは独裁的な指導体制を取っており、後に、全世界を第二次世界大戦へと導き、ユダヤ人を虐殺した人です。ですが、選挙で国民が選んでなかったら、この事件は起きなかったかもしれません。このことから、私達は、選挙が大切なものだと考えました。(3つめは、せっきょくてきにせいじにさんかすることです。)のこりは、なくします。

4つ目は、戦争を繰り返さないように私たちが、未来へ残していくことです。戦争はただの人殺しです。望んでいる人などいません。大切な人がなくなってしまうことは、どれだけ心が痛むことでしょう。心の傷を消すことはできませんが、私達が戦争のことについて語り平和主義をこれからも大切にしていきたいなと思います。

5つ目は、他人の心を傷つけない言葉を使うことです。相手を刺激させずに、会話を成立させることが、戦争をなくす第一歩になるからです。

参考サイト⇨なぜ戦争が起こる？私達に何ができることは、なにか ELEMENIS <https://eleminist.com/article/3250>

画像素材 戦争放棄画像 google検索

わたしたちにできること

わたしたちにできることは5つあります

1つめは、かいがいもめごとに、きょうみをもつことです。かこのせんそうからまなぶことで、おなじしっぱいをくりかえさないようにすることです。

2つめは、ぼきんやいべんとにさんかすることです。ぼきんをすることによりせんそうでこうげきをうけたむらやくにをたすけることができます。また、いべんとにさんかすることにより、1つめのことができます。

3つめは、すすんでせんきょにさんかすることです。あどるふ・ひとらーというひとをしっていますか。かれはあるせんきょでだいとうりょうになりました。そのごひとらーはじぶんのくにのひちたちにひどいことをさせていて、そのあとぜんせかいをせんそうさせようとかんがえ、ゆだやじんというひとたちををしまつしたひとです。ですが、せんきょでくにのひとたちがえらんでいなかったら、このじけんはおきなかったかもしれません。このことから、わたしたちは、せんきょがたいせつなものだとおもいました。

4つめは、せんそうをくりかえさないようにわたしたちが、みらいへのこしていくことです。せんそうはただのひとごろしです。せんそうをしたいという人などひとりもいません。たいせつなひとがなくなってしまうことは、どれだけこころがいたむことでしょう。こころのきずをけすことはできませんがわたしたちがせんそうのことについてはなし、へいわをこれからもたいせつにしていきたいなとおもいます。

5つめは、たにんのこころをきずつけないことばをつかうことです。あいてをおこらせずににかいわをすることが、せんそうをなくすだいいっぱいになるからです。

私達にできること(画像)

下の表は、戦争を防止するため私達が、実行できるにできる一例です。

できること	実施場所
政治活動への参加	市役所等
募金	店舗・インターネット
戦争・紛争についての理解を深める	図書館・インターネット

理由

戦争の決断を行うのは、首相等です。そこで、戦争の決断をしない首相等を選ばないようにできます。

日本国では、8/15が、終戦記念日となっています。
この日を忘れないようにしましょう。



戦争放棄

アドルフ・ヒトラーさん→



考えたこと・わかったこと

この学習を通して私達は、戦争についての理解を深め、自分たちにとって当たり前の生活が、当たり前のことではないと改めて考えを深める機会になったとおもいました。

そしてわかったことは、「戦争」について直接繋がらない募金や選挙に参加するという小さな行動で、「戦争」という大きな壁を超える行動すなわち、「戦争」を回避すると言いうことができるはずです。

みなさんも、このパンフレットに書いてある「私達にできること」を参考にして、行動を起こしてみ、誰も傷つかない平和な世界を作りませんか？

このがくしゅうをとおしてわたしたちは、せんそうについて、うけいれ、考えを、ふかめて、じぶんたちにとってあたりまえのせいかつが、あたりまえのことではないとまたかんがえをふかめるきかいになったとおもいました。

そしてわかったことは、「せんそう」についてちよくせつなにもなかにいれずにつながらないぼきんやせんきょをするというちいさなこうどうで「せんそう」というおおきなかべをこえるこうどう、つまり「せんそう」をよけるということが出来るはずです。

みなさんも、このぱんふれつとにかいてある「わたしたちにできること」をもとにして、こうどうをおこしてみ、だれもきずつかないあらそいがないせかいをつくりませんか？

学習を終えて(子どもたちのふりかえり)※一部抜粋

・これまで、平和について様々なことについて知ることができた。特に甲府空襲展の戦争体験者の方の話、遺族会の方々の話が心に残りました。甲府市で起こった空襲で町が火の海になり...聞くだけでも心が痛む話だった。(後略)

・(前略)まず、戦争について知る、関心を持つことが大切だと思いました。(中略)遺族会の方々のお話を聞いたとき、「戦争体験者が少なくなっているから、戦争を二度とやってはいけないことや戦争の恐ろしさを伝え続けてほしい」とおっしゃっていました。私達は戦争を経験していないけれど、だからといって何もしないのではなく、行動を起こすことが大切だと思いました。これからは、まず、自分にできることをしたいです。たとえば、自分の周りの人を大切にする事です。そして、伝えること、できたら募金活動にも参加する、遺族会の方もおっしゃっていたように、18歳になったら知識を高めて投票したいです。(後略)

学習を終えて(子どもたちのふりかえり)※一部抜粋

・(前略)ロシア大使館に手紙を送って、返事が返ってくるとは思わなかったからびっくりした。この出来事で自分の気持ちを伝えることは大事なことだとわかった。(中略)自分たちが学んだことをもっとたくさんの人に知ってもらいたいと思った。下級生に発表し、難しくてよくわからない所もあったかも知れないが、私達の気持ちが少しでも伝わったらいいなと思った。

・戦争が始まる理由は大きく分けて5つあるけれど、どんな理由でもしてはいけないものだと思えて感じた。(中略)平和を実現するためには、世界中の人々が協力しないと実現することが出来ない。まずは、周りの人に優しくすることから始めたい。

・ぼくはこれまでの学習をふりかえって、平和ってすてきだなと思いました。(中略)ぼくも将来は平和な日本を築きたいです。

・甲府空襲展、平和ミュージアムの見学、遺族会の方々のお話を聞いたり、個人やグループでの学習を通して、戦争の恐ろしさや平和についてわかりました。(中略)戦争の原因になることをしない。差別がなく、平和主義を守り、幸せな社会をつくっていけたら良いと思いました。

平和について考えよう

2025年3月21日制作

制作一 甲斐市立玉幡小学校
令和6年度6年1組

文責一担任 上杉春樹

協力一 甲府空襲展実行委員会
甲斐市遺族会
山梨平和ミュージアム
甲斐市役所 秘書課